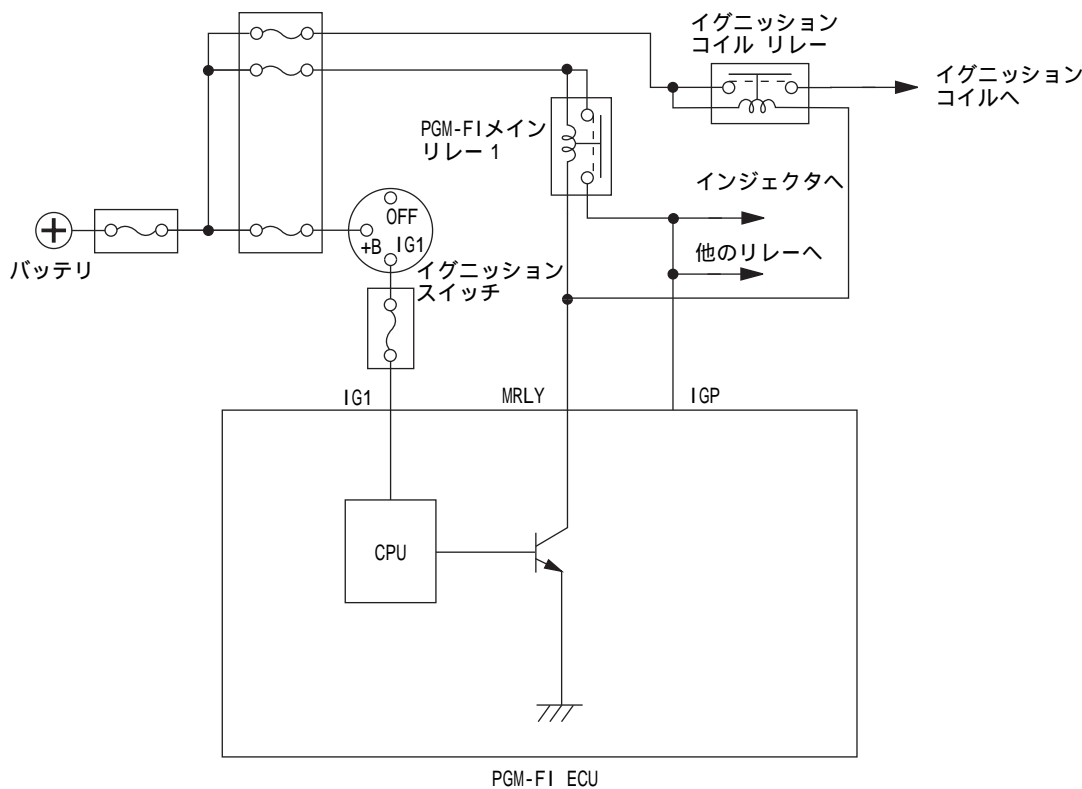


DTC 解説

DTC P0685: ECU 電源回路 / 内部回路異常

検知原理解説



01_P0685C_TF0B00

PGM-FI ECU は、イグニッション スイッチ OFF 直後に全ての機能を停止するのではなく、各デバイスやシステムの要求に応じて所定の処理を完了後、自ら電源供給を遮断する (セルフ シャット ダウン機能を有する)。PGM-FI ECU 電源の遮断は PGM-FI メイン リレー 1 を制御することにより行う。通常の PGM-FI ECU シャット ダウン時は CPU にて必要処理を実行後、PGM-FI メイン リレー 1 を OFF し PGM-FI ECU への供給電源電圧を低下させることで、PGM-FI ECU は完全に動作を停止する。

正規のシャット ダウン手続きを踏むことなく、PGM-FI ECU への電源電圧が低下し PGM-FI ECU が動作停止した場合、PGM-FI ECU は PGM-FI メイン リレー 1 制御回路の故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以内
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

DTC 解説

検知実行条件

条件項目	下限	上限
エンジン始動後の経過時間	10 秒間	
エンジン回転数 [エンジン回転]	400rpm	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

正規のシャット ダウン手続きを踏まずに PGM-FI ECU がシャット ダウンした場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障
- ・ PGM-FI ECU と PGM-FI メイン リレー 1 間コード (MRLY ライン) の断線

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。